

「大阪における社会福祉の歴史」



2004（平成16）年から2008（平成20）年の5年間にわたり、大阪社会福祉史研究会と大阪市社会福祉研修・情報センターの共催により実施した「社会福祉史の市民講座」で発表された大阪の福祉に取り組んだ先達の活動を冊子としてまとめました。

さまざまな実践の歩みを振り返り、次代の大阪らしい実践に向けて多くの示唆を与える内容と、当時の資料をまとめておりますので、ぜひお読みください。

大阪における社会福祉の歴史Ⅰ

福祉パイオニアの群像

- 非行少年たちの母として—池上雪枝—
- 福祉施設をつくった侠客—小林佐兵衛—
- 寄る辺なき老人の杖として—岩田民次郎—
- 家なき子の親たち—小橋勝之助・実之助と林歌子—

地域福祉の源流

- 石井記念愛染園の活動—なにわのセツルメントの先駆け—
- 方面委員の誕生—民生・児童委員の前身はどのようにして生まれたか—
- 北市民館の活動—はじめての公営セツルメント—
- 大阪におけるセツルメント運動とその現代性
- なにわ福祉風土記—福祉の魁(さきがけ)を育んだ大阪(なにわ)の人と町

大阪における社会福祉の歴史Ⅱ

福祉パイオニアの群像

- 大阪医療福祉実践の源流—ラニング、アダムス、テイラー、山田俊卿と明治期の民間活動—

障害者福祉の先駆者—なにわ流の挑戦

- 大石順教尼と「腕塚」—無手の身で障害者を励ます—
- 中村京太郎と「点字毎日」—世界唯一の点字新聞の話—
- 盲ろう児教育と「福祉」—私立盲啞院から始まった大阪のろう・盲教育—
- 岩橋武夫の道・・・義務ゆえの道行
- 岩崎佐一と「桃花塾」—知的障害児の先駆け—

先達に聴く大阪の民間社会福祉

- 大阪における高齢者保護事業の始まり
- 行政と福祉事業

大阪における社会福祉の歴史Ⅲ

警察畑から「福祉」の美田を拓く—治安より救済を—

- 巡査あがり日本社会事業を拓く—池上四郎（大阪市長）と天野時三郎（社会部長）
- 武田慎治郎の思想と実績—修徳学院と武田塾の創設—
- あいりんと大阪自彊館の歴史—中村三徳と大阪自彊館—
- 大阪の慈恵事業第3セクター—稲田穰と弘済会—

大阪のセツルメント運動—開拓者の人となり福祉思想—

- 四恩学園の創設—林文雄の生き方と仏教福祉思想—
- 生野セツルメントから大仙保育園へ—八田豊子の人と事業—
- 大阪毎日新聞慈善団と聖和社会館の接点について—村嶋歸之の思想についての小考察—
- 吉田源治郎と四貫島セツルメント—その働きとセツルメント思想—

特別号『大阪社会事業ボランティア協会の軌跡』

1948（昭和23）年10月に設立された大阪社会事業ボランティア協会当時の活動や変遷を紹介するとともに、歴史的「転換期」における「公私関係のあり方」と「社会福祉実践における主体性」を関係づけて、今日的課題に多くの示唆を与える内容と、当時の資料をまとめました。執筆：岡本榮一（大阪社会福祉史研究会）

大阪における社会福祉の歴史Ⅳ

大阪の戦後混乱期の社会福祉事業

- 「浮浪者(児)」の心に響け、「愛の鐘」—梅田厚生館と五十嵐兼次—
- 大阪福祉事業財団の創設と展開

変貌する市民生活と社会福祉の発展—1960年代の大阪—

- 家庭看護促進協会のはじまりと発展
- 大阪医療社会事業協会のはじまりと発展
- 「釜ヶ崎」の不就学児童と地域
- 障がい児保育のはじまりと発展
- 老人福祉法の制定と高齢者福祉の発展
- 大阪ボランティア協会のはじまり

発行：大阪市社会福祉研修・情報センター（運営：大阪市社会福祉協議会）

編集・協力：大阪社会福祉史研究会

販売価格 各700円

FAXでの申込み、及び当センター1階事務室で販売しています